

ランチョパロスベルデス市 City Manager Ara Mihranian 様 挨拶

皆さんこんにちは。まずこの調印式を執り行えましたことに、ランチョパロスベルデス市とさくら市の職員の皆様にお礼を申し上げます。特に副 City Manager Karina Banales さんと、さくら市総合政策課 日下田 紋加さんのお陰で本日調印式を成功することができました。ありがとうございました。

ランチョパロスベルデスの市の市民は、「この市は天国だ。」とよく言います。7マイルの海岸線や太平洋の素晴らしい景色、カタリナ半島やロサンゼルス盆地と港、1400 エーカーの広大な土地と、合わせて約 53 kmの散策路がいくつもあるので、たくさんの人に天国だと思われるでしょう。

太平洋を隔てて約 8500 km遠く離れたさくら市も、ハイキングコースを含め、アウトドア施設や山間風景や限りなく広がる桜並木も天国を連想させることでしょう。これらの美しい自然からも私たちはこの2つの素晴らしい市が友好都市になるのは自然のことと思います。

20 年前に両市の若者たちが作り上げてきた「絆」が、本日、より深く、末長い友情の花を咲かせたのだと思います。

ただ今調印した締結書はただサインされた紙ではありません。この締結書は両市の絆や友情、交流が文化的、情緒的に一つになった表れだと思います。

City Manager としてこのランチョパロスベルデス市の歴史的行事に参加できたことを大変嬉しく思います。私たちの市の初めての友好都市ということだけではなく、さくら市と繋がることができたからです。

最近、自分自身がさくら市と個人的に繋がりがあることを発見しました。4月に、私が子どもの頃からよく使っていたお皿が、「桜」の絵柄だったということです。

このような繋がりもあったので、私は両市の関係がより深くなることを期待申し上げます。